【ユニット】　導入クリニカル・クラークシップ２-3

【ユニットディレクター】

UD：石橋　敬一郎（医学教育学）
UD補佐：森　茂久（医学教育学）　　辻　美隆（医学教育センター）　　川村　勇樹（教養教育）　杉山　智江（医学教育センター）　　大西　京子（医学教育センター）　　齋藤　恵（医学教育センター）　　柴﨑　智美（医学教育学）　　黒崎　亮（国セ 婦人科腫瘍科）　　松本　春信（血管外科）　　金田　光平（医学教育センター）　　中山　英人（麻酔科）　　前田　卓哉（臨床検査医学（中央検査部））　　佐藤　寛栄（医学教育センター）　　佐藤　真塩（医学教育センター）　　松田　晃（医学教育学）

【一般的な目標】

I．基本的診療技能実習
　臨床実習（CC step1）を円滑に行い，その成果をすぐれた医療人（臨床医）として実践できるようになるために，医学生として備えておくべき基本的臨床能力を習得する。
共用試験 OSCE にむけた「診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学修・評価項目」(公益社団法人共用試験実施評価機構編)に記された技能・態度を習得する。
II．根拠に基づいた医療（EBM）
　PICO(PECO)を用いて問題を定式化し、二次情報から得られたエビデンスを批判的に吟味することができる。

【具体的な目標】

I．基本的診療技能実習
1. 患者さんとの対応において留意すべき点を述べることができる。
2. 身体診察にあたって配慮すべき事柄を述べることができる。
3. （模擬的な）医療面接を通して良好な医師、患者関係を築くための基本的コミュニケーション技法を用いることができる。
4. （模擬的な）医療面接を通して病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、社会歴、職業歴、システムレビュー等）を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。
5. 全身状態を評価し，バイタルサインを測定することができる。
6. 胸部(心/肺)，腹部の診察を行うことができる。
7. 頭頸部，神経系，四肢と脊柱の診察を行うことができる。
8. シミュレータを用いた乳房診，直腸診を実施できる。
9. 12誘導心電図を装着し，記録できる。
10. Basic Life Support(心肺蘇生法)、人工呼吸法を実施できる。
11. 手洗い，ガウンテクニックを実施できる。
12. PPE(Personal Protective Equipmwnt,個人防御具）の着脱と廃棄ができる。
13. シミュレータを用いた静脈採血を実施できる。
14. 診療所見を正しく記載し、問題志向型医療記録（POMR)による診療録を記載できる。

II．根拠に基づいた医療（EBM）
1. 得られたエビデンスの批判的吟味ができる。
2. 診療ガイドラインの種類、推奨の強さ、使用上の注意を理解している。
3. 整理した問題点全体を矛盾無く説明可能な病態生理を推測することができる。
4. 患者の個別性や状況を考慮してエビデンスの適用について考えることができる。

【学習方法】

I.基本的診療技能（4－5月）

小グループを編成して，実習を行う。質問等は、実習時間内に受け付ける。

1. 基本的診療技能実習前に、共用試験実施評価機構の動画を視聴し、診察法などについて概要を作成する。
2. 確認テストを行い、理解度を確認する。
3. 身体診察法(頭頸部診察，四肢・脊柱の診察)を順次ローテート実習する。
4. Basic Life Support，人工呼吸法、基本的臨床手技(手洗い・ガウンテクニック，PPE、静脈採血)について順次ローテート実習する。
5. 問題志向型医療記録（POMR)による診療録を記載の仕方について実習する。

II.基本的診療技能（まとめ）

小グループを編成して，実習を行う。質問等は、実習時間内に受け付ける。

1. 実習前オリエンテーションで基本的診療技能のまとめを行う。
2. OSCE前のまとめとして、診療参加型臨床実習に必要とされる技能と態度について再度順次ローテート実習を行う。

III. 根拠に基づいた医療（EBM）

1. 小グループを編成して、仮想の患者さん情報を題材として治療計画立案を行う。

【評価方法】

本ユニットは良医になることを目指して，講義や実習に参加し，課題に取り組むことを求めている。そのため，医師を目指す医学生としてふさわしくない態度，行動があった場合には，評価の対象とせず不合格とする。また、本ユニットは、臨床実習の導入として位置づけられているため、原則すべての実習に参加することを評価の要件とする。

1. 【本ユニットは実習扱いであり、90％以上の出席が必要である。】

   出席90％以上の者を評価対象とし，出席90％に達しないものは評価対象としない。欠席する場合には事前連絡と欠席届の提出が必須である。やむを得ない理由で実習を欠席した場合には，90％以上出席していた場合においても、それぞれの実習の参加が不十分と考えられる場合には、補講を実施する。

   なお、集合して実施するオリエンテーション等は時間を厳守することを求める。遅刻した場合には、評価に反映する。

   実習オリエンテーションを欠席した場合には、実習前日までにオリエンテーションの動画を視聴する、実習要項を熟読するなど、教員からの指示に必ず対応すること。対応しない場合には、実習への参加は認めない。
2. 11月以降の実習はインフルエンザワクチンを接種していることが，実習参加の条件である。
3. 本ユニットでは全ての課題（提出物）の提出を求める。具体的には，学務課や実習担当者に提出するレポート、実習成果物等だけでなく，WebClassに登録する日々の振り返り（ログブック）、ルーブリック評価，レポート，ポストアンケート、健康チェック観察シートを含むすべての課題である。それぞれの課題毎に決められた提出期限内に未提出の場合には，催促は行わず未提出として扱い、評価点から減点する。指定された方法，内容と異なるものやレポート剽窃等アンプロフェッショナルな行動があった場合には出席・提出物を0点とする。
4. 評価は，OSCEの成績、出席，実習態度，確認テスト，レポートを総合して100点満点で評価する。マイルストーン評価はレポート課題として評価する。合格に達しない場合には、補習後再評価を行う。

【教　科　書】

◆ 診療参加型臨床実習に必要とされる技能と態度についての学修･評価項目 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構
◆ 身体診察と基本手技 基礎臨床技能シリーズ5, 倉本 秋, メジカルビュー社
◆ 内科診断学第４版（医学書院）
◆ 内科学第12版（朝倉書店）
◆ 診療ができる vol.1 身体診察(第１版),メディックメディア社

【参　考　書】

◆ 臨床推論　EBMと病態生理から症例を考える　基礎臨床技能シリーズ4, 編集：後藤英司, メジカルビュー社
◆ 症例からたどる鑑別診断　ロジカルシンキング, 編集：後藤英司他, メジカルビュー社
◆ 模擬患者とつくる医療面接, 寺沢秀一, 林　寛之, 氏家靖浩, ナカニシヤ出版
◆ 戦略としても医療面接術, 児玉知之, 医学書院

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
Pre-CC２-3 OR	04月07日	（火）	5～6	オリエンテーション	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第1クール	04月08日	（水）	1～6	基本的診療技能実習／根拠に基づいた医療（EBM）	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第1クール	04月15日	（水）	1～6	基本的診療技能実習／根拠に基づいた医療（EBM）	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第1クール	04月22日	（水）	1～6	基本的診療技能実習／根拠に基づいた医療（EBM）	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第1クール	05月13日	（水）	1～6	基本的診療技能実習／根拠に基づいた医療（EBM）	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第1クール	05月20日	（水）	1～6	基本的診療技能実習／根拠に基づいた医療（EBM）	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第1クール	05月27日	（水）	1～6	基本的診療技能実習／根拠に基づいた医療（EBM）	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 OR	10月29日	（木）	1～6	オリエンテーション	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第2クール	10月30日	（金）	1～6	基本的診療技能実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第2クール	10月31日	（土）	1～6	基本的診療技能実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第2クール	11月02日	（月）	1～6	基本的診療技能実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第2クール	11月04日	（水）	1～6	基本的診療技能実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第2クール	11月05日	（木）	1～6	基本的診療技能実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第2クール	11月06日	（金）	1～6	基本的診療技能実習	UD, UD補佐, その他
Pre-CC２-3 第2クール	11月07日	（土）	1～6	基本的診療技能実習	UD, UD補佐, その他

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
Pre-CC２-3 第2クール	11月09日	（月）	1～6	基本的診療技能実習	UD，UD補佐，その他
Pre-CC２-3 第2クール	11月10日	（火）	1～6	基本的診療技能実習	UD，UD補佐，その他
Pre-CC２-3 第2クール	11月11日	（水）	1～6	基本的診療技能実習	UD，UD補佐，その他

【備　考】

それぞれの実習の事前学習・課題は、年度初めまたは実習前に実施するオリエンテーションで詳細を説明する。基本的診療技能実習では、教員がその都度フィードバックを行う。
キーワード：基本的診療技能、医療面接、問題演習。
「UD，UD 補佐，その他」と記載してある時間は、以下の者が担当している。
石橋（医学教育学)、森(医学教育学)、辻（医学教育 C)、柴崎（医学教育学)、中山（麻酔科)、前田（臨床検査医学)、黒崎（国セ婦人科腫瘍科)、松本（血管外科)、山田（医学教育 C)、川村（教養教育)、杉山（医学教育 C)、大西（医学教育 C)、齋藤（医学教育 C)、金田(医学教育 C)、杉浦（医学教育 C)、佐藤寛（医学教育 C)、佐藤真（医学教育 C）その他